

2021年8月31日

クオントムバイオシステムズ株式会社への支援決定の撤回について

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、次世代 DNA シークエンサーを開発するクオントムバイオシステムズ株式会社（本社：大阪府大阪市、CEO：本蔵俊彦、以下「クオントムバイオシステムズ」）が解散決議を行い、旧産業競争力強化法（平成 25 年法律第 98 号）に定める特定事業活動を行わなくなったため、同社への支援決定を撤回しました*。

* 株式会社 INCJ は、旧株式会社産業革新機構から新設分割後も、分割に関する経済産業大臣認可の条件等に基づき、旧産業競争力強化法と同趣旨の枠組みの下で運営されています。

クオントムバイオシステムズ株式会社について

設立 : 2013 年 1 月
所在地 : 東京都中央区
代表者 : 代表取締役社長兼 CEO 本蔵 俊彦
事業内容 : 1 分子解析技術に基づく革新的 DNA シークエンサーの開発
URL : <https://quantumbiosystems.com/?lang=jp>

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

【別紙】

1. 対象会社

- ・ 事業者名 : クオンタムバイオシステムズ株式会社について
- ・ 設立 : 2013年1月
- ・ 所在地 : 東京都中央区
- ・ 代表者 : 代表取締役社長兼 CEO 本蔵 俊彦
- ・ 事業内容 : 1分子解析技術に基づく革新的 DNA シークエンサーの開発
- ・ URL : <https://quantumbiosystems.com/?lang=jp>

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定金額 : 33億円（上限）
- ・ 実投資額 : 14億97百万円
- ・ 支援決定公表日 : 2015年2月
 - プレスリリース :
「次世代 DNA シークエンサーを開発するクオンタムバイオシステムズ株式会社への出資を決定」
<https://www.incj.co.jp/newsroom/assets/1423210486.01.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

クオンタムバイオシステムズは、1分子電流計測による DNA 解析原理を実証した大阪大学・川合知二特任教授（当時）、谷口正輝教授らの研究成果をベースに、次世代 DNA シークエンサーを開発する大学発ベンチャーとして 2013年に設立された。同社は、高精度で、かつ、読み取りコストを大幅に削減できる革新的な 1分子 DNA シークエンサーの実用化を目指して、開発を進めていた。

個別化医療や創薬研究において、ゲノム解析のニーズが拡大しており、INCJ は、基礎研究・創薬研究から臨床応用に至るまで、クオンタムバイオシステムズによる日本発の次世代 DNA シークエンサーが幅広い分野で普及することを期待し、同社に対して 2015年2月に 33億円を上限とする出資を公表し、段階的投資として 14億97百万円を出資した。

(2) 事業の進捗

クオンタムバイオシステムズは、大阪大学の基礎研究コンセプトを更に発展させ、塩基を識別するためのトンネル電流・ホッピング電流を捕捉するナノ電極を多数集積化したチップを、半導体製造技術を応用して製造し、そのチップを用いたシークエンサーの開発を進めてきた。

また、その間、シークエンサー開発の中心であるシリコンバレーに研究開発拠点を移し、半導体デバイスを製造する米国企業との DNA を読み取るチップ開発の共同研究や、アカデミアとの共同研究に取り組むなど、オープンイノベーションを推進してきた。

(3) Exitの経緯・内容

クオンタムバイオシステムズは、遺伝情報解析にかかる時間やコストを下げることで、個別化医療や創薬研究を加速させ、薬の副作用軽減や医療費低減に貢献することを目指し、次世代 DNA シークエンサーの開発に取り組んできた。しかしながら、同社における新技術の開発には時間を要し、事業化には至らなかった。そのため、クオンタムバイオシステムズは、これまでの開発の蓄積が今後のゲノム解析技術の革新に貢献することに期待し、シーケンサー関連企業に対して一部の知的財産権を譲渡したうえで会社を解散することになった。その結果、INCJ は、同社への支援決定を撤回することとした。

<本発表資料に関するお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 入江、野々宮（報道関係）

東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

電 話 : 03-5532-7086 URL : <https://www.j-ic.co.jp/>

<https://www.incj.co.jp/>